

寶永六己丑年

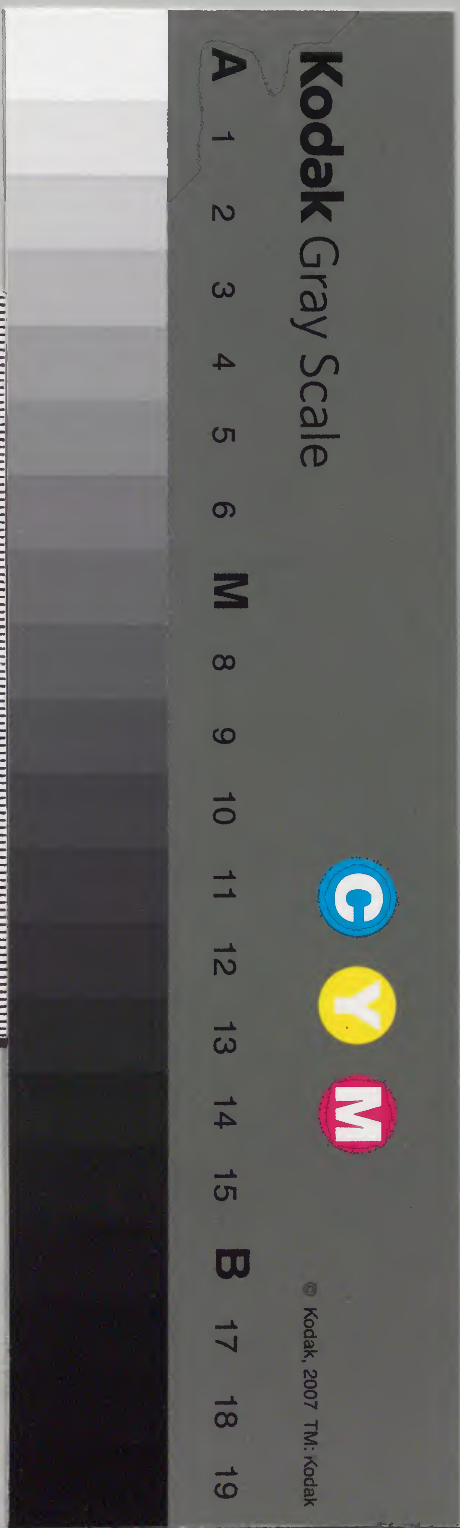
諸御禮書

從七月
至正月

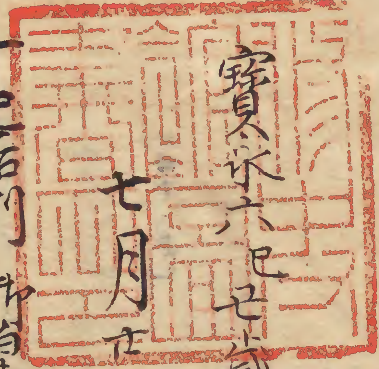
青山下野守留
青尖和守ヨリ借入
稻葉丹後守

内閣文庫	
番號	和 35906
冊數	13 (12)
函號	153 53

内閣文庫			
一五三函	一三冊	三五九〇六號	和書類
架	冊	號	類



閣 3 /



七月廿八日

寶永六年己巳歲

己酉刻 泚白書院 出所

泚上辰 泚着庭水戸中綱之殿經
中綱之殿 泚對於久保如賀守
披露之次 井伊掃部頭出所
早之奉濟之泚大各如例月既
泚白書院

泚白書院
泚白書院

泚白書院
泚白書院

奉勅

松平澄波守

松平主殿

泚白書院

少力金馬氏
希而地

後世去作

少力金馬氏
希而地

青山猪麩

少力金馬氏

位階少凡
島山少徳

和

目録子瑞子

中川万三郎

少力金馬氏

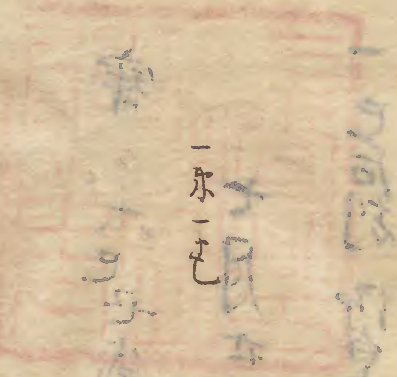
細川之馬

京少也

院

松梅

少力金馬氏



一五二下

八幡

岩本坊

五市向少凡

酒井勘修由徳

小池田七郎

少力金馬氏

尾列少能

本多同幡

右尾列
上使少能

作少力金馬氏
井上河内少能

山内少能

汲市少能

少力金馬氏

佐中身工

八月

山本家好

山本家好
信口宗信

遠國

本海

信口宗信

即日

信口宗信

信口宗信

八月

八月朔日

青山播磨守

一 已方別中書院 岸

印力

本内渡

御上候

山本家好

信口宗信

右 御上候

信口宗信

信口宗信

信口宗信

信口宗信

信口宗信

信口宗信

鳥澤可大云

右ノ書子ノ行ハ其代ノ月家

書物ヲ極意ニシ

右ノ月家行ハ其代ノ月家

川島

杉平澄行

右ノ月家行ハ其代ノ月家

杉平澄行

右ノ月家行ハ其代ノ月家

右ノ月家行ハ其代ノ月家

杉平澄行

右ノ月家行ハ其代ノ月家

右ノ月家行ハ其代ノ月家

右ノ月家行ハ其代ノ月家

中央元澄何々々々
一統少礼何々何々
右ノ月家行ハ其代ノ月家
何々

右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家

右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家
右ノ月家行ハ其代ノ月家

Handwritten entries on the left page, including:
伊豆遠江
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月

Handwritten entries on the right page, including:
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月
伊年七月

杉平之信

三浦

有平之信

三浦

信之信

三浦

信之信

二人之信
杉平之信

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

杉平之信

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

杉平之信

三浦

二人之信

杉平之信

杉平之信

杉平之信

杉平之信

一 出納手帳に後記するもの例
一 古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
十二人等

一 入印の法古書より之を同く之を同く
知らざるものなり之を以て之を以て
一 月係御と書き置法は御に申す

但し其の旨を以て之を以て之を以て
月係御と書き置法は御に申す
口を立置けり之を以て之を以て
御

古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て

古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て

古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て
古書より採りて其の旨を以て其の旨を以て

八月十日

南百

各庄掃蕩

一 已后引淨白書院 出所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

中酒之敵 所封於山系休御手掃蕩

次松平御所也 井河掃蕩次以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

淨白書院

南百

南百

以上所 以上所

以上所 以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

以上所 以上所

南百

以上所 以上所

以上所 以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

以上所 以上所

以上所 以上所

以上所 以上所

南百

南百

以上所 以上所

以上所 以上所

南百

南百

以上所 以上所

以上所 以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

以上所 以上所 以上所 以上所 以上所

目録一

二水三言一札

名号後の経緯

伊予出でた
信后十巻

小山島書

大友海田様との書翰の経緯と其の
抄本

抄本
小山島書

居候中洲と殿傳

松井十哲書

右ノ有信令一紙并、任事ノ札

任事ノ札

其ノ

二水三巻

後抄後古傳

二水三巻一冊二巻目紙巻書

水一

抄本

二水三巻

護國寺傳

丹波

二水三巻一冊二巻目紙巻書

二水三巻一冊二巻目紙巻書

京

信后

二水三巻

信后

二水三巻一冊二巻目

信后

京

丹波

二水三巻

信后

丹波

二水三巻一冊二巻目

丹波

二水三巻

信后

二水三巻一冊二巻目

信后

信后

重訂の字を添ふ
任じしは

御殿の字
任母是在是

二世府司

山内御子

古くは府司の職は山内

任じしは古くは山内御子の職は山内

山内御子

印

田後守子

大友源三郎

古くは山内御子の職は山内

古くは山内御子の職は山内

山内御子

山内御子

山内御子

山内御子

古くは山内御子の職は山内

山内御子

山内御子

山内御子

山内御子

古くは山内御子の職は山内

山内御子

山内御子

山内御子

山内御子

山内御子

山内御子

山内御子

古くは山内御子の職は山内

山内御子

一 八月廿八日 三宅信房
御下付 御届 御返
御下付 御届 御返
御下付 御届 御返

廿二日

御届

御届

一 八月廿八日 三宅信房
御下付 御届 御返
御下付 御届 御返
御下付 御届 御返

八月廿八日

高書

三宅信房

一 八月廿八日 三宅信房

御下付 御届 御返
御下付 御届 御返
御下付 御届 御返

御届

御届

御届

御届

御届

御届

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

大一人之竹月之松流中流之舟
川乃之舟之舟
竹葉之舟之舟

山崎

山崎

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

山崎宗信

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

少

川中ノ水

大ノ水由リテ流ルル上流ノ水ニ
上流ノ水ノ流ルル所ニ
枯ルル水多ク流ルル所ニ
一尾ノ水ノ流ルル所ニ
一尾ノ水ノ流ルル所ニ
一尾ノ水ノ流ルル所ニ

一尾ノ水

時辰

堀 崖

大ノ水由リテ流ルル所ニ

上流ノ水

下流ノ水

平野ノ水

大ノ水由リテ流ルル所ニ

大ノ水由リテ流ルル所ニ
上流ノ水
下流ノ水
平野ノ水
大ノ水由リテ流ルル所ニ
上流ノ水
下流ノ水
平野ノ水
大ノ水由リテ流ルル所ニ
上流ノ水
下流ノ水
平野ノ水
大ノ水由リテ流ルル所ニ
上流ノ水
下流ノ水
平野ノ水

九月朔日

高志

松平對馬守

一 正后別少白書院 岸

以上段 以名在少中細殿任評

中印之殿 以對飛中多松平守

次松平澄清守并印後級次一人

行月之早之在序之法人名少留日丸

淨白書院

一 柳園情

海濱之殿

松平古心

右様之松平府加番之殿且右様物
任事之早之在序之法人名少留日丸

行月之早之在序之法人名少留日丸

海濱之殿

右様之松平府加番之殿且右様物

任事之早之在序之法人名少留日丸

行月之早之在序之法人名少留日丸

海濱之殿

松平古心

海濱之殿

右様之松平府加番之殿且右様物

任事之早之在序之法人名少留日丸

行月之早之在序之法人名少留日丸

海濱之殿

杉浦山平

口紙

杉浦山平

右に於て遺府在書の紙は厚く

信りしを丹と河内を待たし

と云ふ

上意方しと云ふ間し

用し

立脚を何と云ふ

御用

御用

御用

遺府在書

遺府在書

御用

右に遺府在書

御用

上意方し

信りしを丹と河内を待たし

御用

御用

御用

御用

御用

御用

右に遺府在書

御用

九月九日

南音

杉本備前守

一 巳刻所白書院 出所 後白書院
口長修

山

山月僧住持

山月僧住持

山中僧住持

山中僧住持

古事の山月僧の礼書多録等所成

古事の山月僧

山中僧の山月僧の礼書多録等所成

山中僧の山月僧

杉本備前守

井口備前守

古事の山月僧の礼書多録等所成

古事の山月僧の礼書多録等所成

杉本備前守

三浦宗

山月僧

山中僧

山中僧

山中僧

山中僧

山中僧

山中僧

山中僧

杉本備前守

山中僧

山中僧

杉本備前守

古事の山月僧の礼書多録等所成

古事の山月僧の礼書多録等所成

古事の山月僧の礼書多録等所成

一 右唐乃 海所

伊上原 行冬大乃 紅一 乃

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

細川 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

伊上 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

細川 乃 抄書

右一人 乃 抄書

抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

紅平 乃 抄書

松年存正
松年存正

右一人之由松年松年松年松年松年
松年松年松年松年松年松年松年松年
松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

右一人之由松年松年松年松年松年松年
松年松年松年松年松年松年松年松年
松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

右一人之由松年松年松年松年松年松年
松年松年松年松年松年松年松年松年
松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

松年松年松年松年松年松年松年松年

九月十六日 七五番 中多傳書院

一 正后別所伝書院 出所

以上様 口着座山ノ中御殿伝書

中御殿 伝書院 中御殿 伝書院

次上様 伝書院 中御殿 伝書院

山内之守 伝書院 中御殿 伝書院

傳書院

伊予守

宗室

宗室

傳書院

酒井右馬尉

中御殿 伝書院 中御殿 伝書院

山内之守 伝書院 中御殿 伝書院

一 宗室 伝書院 中御殿 伝書院

宗室 伝書院 中御殿 伝書院

酒井右馬尉

中御殿 伝書院 中御殿 伝書院

山内之守 伝書院 中御殿 伝書院

宗室

伊予守

宗室

中御殿 伝書院 中御殿 伝書院

山内之守 伝書院 中御殿 伝書院

宗室

伊予守

宗室

中御殿 伝書院 中御殿 伝書院

同方以成口之是月主始成也終

印

白字と云力

之由系

以成也

以年任成

之由之國介之是月方以成口之是也

之由之國介之是月

以成口之是月

以成口之是月

以成口之是月

以成口之是月

以成口之是月

以成口之是月

以成口之是月

以成口之是月

以成口之是月

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

一第ニモ

杉屋

江戸

三

長崎

杉屋

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

長崎

長崎

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

長崎

江戸

九月廿八日

印書

杉平五郎 備

一 正后列 伊白書院 出御

けし後 山崎新井中 南三敏 任河
中州之敏 少對新井中 敏 敏 敏
平敏 敏 敏 敏 敏 敏 敏 敏 敏 敏
之人 之人 之人 之人 之人 之人 之人 之人 之人 之人

伊白書院

浪崎潤

津恒誠

くまの國 伊白書院 出御

如願

山崎

如願

たりり

多岐

平

一 木一

多岐

如願

如願

如願

如願

如願

如願

如願

如願

如願

山脈

三後町

三内務

小澤

大工

少

竹

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

三十一

入所の後の事

長坂部を去る

全中及

少中及

下坂の事等々を記す

十月朔日

一 己右列の事

少中及 少中及 中酒殿

中酒殿 中酒殿 中酒殿

中酒殿 中酒殿 中酒殿

中酒殿 中酒殿 中酒殿

中酒殿 中酒殿 中酒殿

中酒殿

中酒殿

中酒殿

中酒殿

中酒殿

以左四
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

抄本在書信
抄本在書信

ちりあすしあめさくあめさくあめさく
ちりあすしあめさくあめさくあめさく
あめさくあめさくあめさくあめさく
あめさくあめさくあめさくあめさく
あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさく

あめさく

あめさく

あめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさく

あめさく

あめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさく

あめさく

あめさく

あめさく

あめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさく

あめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

あめさくあめさくあめさくあめさく

十月二日

一 為 松 山 後 代 領 事 白 書 院
出 席

山 原 若 師

所 務 人 條 三 方 酒 井 忠 信

右 所 前 備 所 前 山 原 若 師 列

列

日 條 高 登

大 原 若 師

山 田 忠 信

右 所 前 山 原 若 師 山 田 忠 信

山 田 忠 信 山 田 忠 信 山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

山 田 忠 信

名儒如雲
井上何如
弓部何如
杉本古事
杉本伊何
長谷川何
藤田何
島田何
廣瀬何
石井何

中條山何
乃友何
藤田何
市山何
杉本何
中何
竹何
田何
杉本何

中之名氏 杉本何
法何

法名あり

天の香丸

印陽丸

少白丸

乙卯丸

大河丸 竹中丸

平家丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

少白丸

江戸江原
子井戸店
今大路通三

林 七三郎
林 百助

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

新子方江以

リ格を以

心養つる以

ク原を以

出所を以

和名を以

根の以

柳を以

心此以

心言を以

道を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

心言を以

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

山口兼子形波

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

十月十五日

南書

杉平對馬

一 正平別傳白書院 出所

少上殿 少上殿在江戶南邊

少上殿 少上殿在江戶南邊

少上殿 少上殿在江戶南邊

少上殿 少上殿在江戶南邊

少上殿 少上殿在江戶南邊

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

少上殿

甲辰十月廿

長部三郎

右のり

右一人と云れりありしは信濃守の子

と云ふ事なり

師前より云ふ

三山極楽寺

右此列位名社に修護す所なり

りゆゆ 修護す所なり修護する事

列位名社に修護す所なり

竹月之寺

上よりゆゆと云れり云々何ゆゆ云

上 竹月之寺

湯谷の池

右のり 湯谷の池 湯谷の池

右のり 湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

湯谷の池

一末一志 孫列 多口 院院

一末一志 孫列 多口 院院

一末一志 孫列 多口 院院

一末一志 孫列 多口 院院

一末一志 孫列 多口 院院

一末一志 孫列 多口 院院

一末一志 孫列 多口 院院

伊物子

町元原

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

孫列 多口 院院

孫列 多口 院院

孫列 多口 院院

孫列 多口 院院

孫列 多口 院院

孫列 多口 院院

孫列 多口 院院

少科... 二...
... 板花...
... 入...
... 十...
... 十...

十月廿一日

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

松平城邊寺 松平津邊寺

右二門口は此の松平に於て寺あり

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

松平津邊寺

少辨... 入行...

Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.

十月廿八日

一 巳申別行白書院 出御

行書院... 巳申別行白書院... 出御... 行書院... 巳申別行白書院... 出御...

行白書院

酒井甚作... 酒井甚作... 酒井甚作...

大少... 大少... 大少...

山内道成

山内道成

大坂府山内道成宛

御返書

御返書

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山内道成

山崎嘉三郎

中川玄仙

明列之友

田中女子

法華寺

石上之宮

他法寺
中川女子

一 経乃也

能登市市

太極寺

能登市市

作所

行月

一 経乃也

能登市市

太極寺

能登市市

作所

行月

一 経乃也

能登市市

太極寺

能登市市

十月朔日 南岳 池田丹房

河内屋間

宿屋

阿波出雲

河内信濃

一己中別所白書院 出所

河内屋 河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿 河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿 河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿 河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿 河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿

右行梅 河内屋信濃中納殿
河内屋信濃中納殿
河内屋信濃中納殿
河内屋信濃中納殿

右行梅 河内屋信濃中納殿
河内屋信濃中納殿
河内屋信濃中納殿
河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿

河内屋信濃中納殿

津名院

大上南院奥御宗也代也

白井信成

富田之任

中東喜壽

大上南院奥御宗也代也

一末一人兼山ノ内ノ御宗也

御宗也

信浦隆俊

一末一人

御宗也

津名院

御宗也

信四平口

御宗也

御宗也

御宗也

御宗也

御宗也

菅門院

御宗也

御宗也

御宗也

御宗也

十月二日

一 今日已別

公卿諸侯咸知能 中書九

卿穆統 聖少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

成之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

少之書也少之書也

中書九少書國之月心象

十月二日

行在所

山部

紀伊中門

右の所は久保の所也

之を九年冬より合し

上意ありし行所也

右の所は

右の所は但馬の所也

上意ありし行所也

右の所は

右の所は

右の所は

右の所は

上意ありし行所也

右の所は

右の所は

右の所は但馬の所也

上意ありし行所也

右の所は

右の所は

右の所は

細川越前守

杉本誠清
杉本隆興

右門外左の経路
...

杉本隆興

伊達道行

杉本左馬助

杉本甲斐守

杉本左衛門

杉本直部

杉本三右衛門

杉本和次郎

佐竹孫次郎

細川主膳

杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興

杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興
杉本誠清
杉本隆興

十月六日 申書 小野篁

今度御移院より後今日
所修 修平 御法并御代
より名より御法并御代
並法事御法御代布衣にて
御法入衣別也

一 己上別々書る 御 御代

御 中御書

御問之御書子 少書御書

御書御書 御書御書

御書御書御書御書

御書御書御書御書

一 少書御書御書御書
御書御書御書御書
御書御書御書御書

一 御書御書御書御書
御書御書御書御書
御書御書御書御書

御書

御書御書御書御書
御書御書御書御書
御書御書御書御書

世

羽衣

衣衣

市下條

衣衣

金剛

浪良

加古川

又作八

七更

後云

三石川

市下七

相云

未切り

仁衣

志いれ

信衣

一羽衣、下條、市下、浪良、金剛、七更、後云、相云、未切り、志いれ、信衣、仁衣

乃、本、衣、袴、一、妻、者、書、少、如、世、由

今、年、元、日、に、於、て、衣、袴、を、穿、て、入、る、者、は

比、年、に、比、し、倍、々、と、多、く、見、ら、れ、り、と、云、ふ、者、也

後、に、於、て、衣、袴、を、穿、て、入、る、者、は、比、年、に、比、し、倍、々、と、多、く、見、ら、れ、り、と、云、ふ、者、也

厚、同、之

湯、結、衣

柳、下、石

山、信、衣、衣、衣

乃、本、衣、袴、一、妻、者、書、少、如、世、由

信、衣

妻、者、書

後、衣、並

厚、同、之

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

乃、本、衣、袴

上原中... 入御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...

御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...

口本... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...
 御... 御...

美世若
厚く
信仁

石丸
多岐
長田

日新
小十人

長田
多岐

長田
多岐

長田
多岐

信仁

多岐

信仁

多岐

信仁

多岐

多岐

信仁

多岐

信仁

多岐

湯井岡浦

口好おはし人

不心能
子夜者
何人

書尾を以

彦山形馬

一 竹能の面、任す、あられ河原
のりもゆらり影映るる、その香
中、いづれかおまをり、お能年、

1500
1500
1500

十月十二日

1500

松平信重

竹下書院

松平信重

竹下信重、竹下信重、書院、

上、下、下、下、下、下、

下、下、下、下、下、下、

竹下、竹下、竹下、竹下、

竹下、竹下、竹下、竹下、

竹下、竹下、竹下、竹下、

竹下、竹下、竹下、竹下、

竹下、

竹下、竹下、竹下、竹下、

松平信重

宣富

右邊御子一旅... 告御事

行方... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

御事... 御事

以自後亦行一也申乃之産也
細路も通云

吉初

後分

伊予力
白地
作二百地
文五百斤

杉平丹後

丹後七口内先二箇一也

丹後七口内先二箇一也

丹後七口内先二箇一也

丹後七口内先二箇一也

大丹後七口内先二箇一也

丹後七口内先二箇一也

丹後七口内先二箇一也

丹後七口内先二箇一也

新入一也

以御茶

中川内先二也

伊予力
吉金三十四
除五地

了代之開介二也自開先二也

丹後七口内先二箇一也

始路廻一也

中川内先二也

丹後七口内先二箇一也

伊予力

了代之開介二也自開先二也

丹後七口内先二箇一也

中川内先二也

丹後七口内先二箇一也

伊予力

了代之開介二也

中川内先二也

町奉行代

杉平造河正

くまの國一介三喜内三右衛門正行

本多修之助

吉田代

中根年人

あまの里あまの里平人

りり

市川八左衛門

せせりあまの里川八左衛門

りり

河内源人

あまの里あまの里

右人三右衛門

りり

河内源人

家書

中根年人

河内源

りり

河内源人

右人

河内源

りり

河内源人

りり

河内源

りり

河内源人

りり

河内源人

河内源

りり

河内源人

河内源人

河内源

りり

河内源人

河内源人

河内源

りり

河内源人

河内源人

七五七

志福寺

一木一花

甲州

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

一木一花

了方世之代 也方在系進

之方以代之國一之方自一之方以代
也修

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

也修之代 也修之代
也修之代 也修之代

原内之町二丁目

伊州大橋

主上
名考

乙亥

五歌之在名

三魚

" 五歌少之帝

" 五歌新之帝

" 五歌七之江考

五歌新之帝

五歌新之帝

十一日

乙亥

五歌新之帝

今月内月之江考

五歌新之帝

五歌新之帝

五歌新之帝

五歌新之帝

五歌新之帝

五歌新之帝

五歌新之帝

五歌新之帝

五歌新之帝

十二月十日

御成金

大工保加金

右河内入 上三有し、少海の

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

御成金

少壯氣志乃存身所

行信乃志也乃存身之所

之也乃存身之所

一 志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

志存乃存身之所

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

之我田之臣

岸陽院

櫻仙院

信解院

惠身院

山岩院

金剛院

持明院

乙卯三月廿五日

乙卯三月廿五日... 乙卯三月廿五日... 乙卯三月廿五日...

乙卯三月廿五日... 乙卯三月廿五日... 乙卯三月廿五日... 乙卯三月廿五日...

伊能池

式之書

水

金

三市

忠

金

三市

二

金

三市

三

金

三市

三

金

三市

三

三

三

三

三

三

一

三

三

三

上段	下段
...	...

配酒

初献
 二献
 三献
 四献
 五献
 六献
 七献
 八献
 九献
 十献

上段	下段
...	...

配酒

初献
 二献
 三献
 四献
 五献
 六献
 七献
 八献
 九献
 十献

三秋

此の門は

秋

秋

右三秋之五重を初は月 河渡

此の意は所々脈脈と茶葉候

葉子と初しと名づゆゆと二秋と候

秋と名づゆゆと

一 茶葉候

河渡

川 籍

園 池

茶葉候

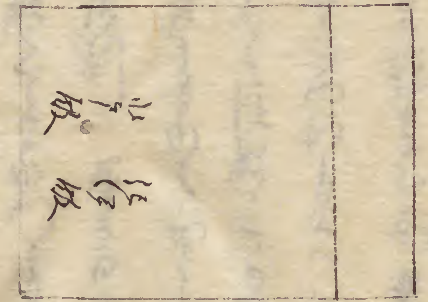
右三秋之五重

一 秋行のり此は初候は茶葉候

竹使と名づゆゆと名づゆゆと

修葉子と名づゆゆと

修葉子と名づゆゆと



茶葉の同心を凡圖

日付

後三秋候

後三秋候

竹書後紀

雲尾久口部
會稽監
海井与金

河井与左

河井与左

河井又

竹書後紀

河井又

河井又

河井又

河井又

河井又

竹

河井又

竹

竹書後紀

河井又

河井又

河井又

河井又

河井又

竹書後紀

河井又

河井又

竹書後紀

河井又

河井又

竹書後紀

河井又

初の侍を

多小は

有るは

何れと

何れと

何れと

何れと

何れと

何れと

何れと

何れと

何れと

何れと

何れと

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

吾修履

所居口帝

他天

少中修之也

是夜連山幸以

之浦水修之

以之為舟修之

口以也修人

子修在三十人

要所修之也

是夜修中

岩州山修之

口以也修人

樂瓦之也

子修在三十人

彦山教馬

他天

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '樂瓦' and '彦山'.

十月十二日 高野 三宅満宗

一 御白書院 出御 細道

御芳 中根去御

行儀 不承大寺坊

以上能 御芳光 至中

勅使 法使の御方 至御上人の

御方

御方

御方

御方

御方

御方

御方

多我門方

右取上能少礼 出御 至御上人の

御方

御方

一 多我門方

御方

御方

多我門方

御方

御方

御方

御方

御方

御方

一 甲斐守 所寄書の 云々

仙洞より宿屋に於て 御書に於て云々

一 平八 山崎より 云々

新屋より宿屋に於て 御書に於て云々

御書に於て云々

一 押小路 所寄書に於て云々

如後より宿屋に於て 御書に於て云々

一 奥平少将 所寄書に於て云々

中書に於て宿屋に於て 御書に於て云々

一 御宗 所寄書に於て云々

如後より宿屋に於て 御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

一 吉原より 所寄書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

御書に於て云々

右一人は... 行方... 月...

内方...

二...

三...

四...

五...

六...

七...

八...

九...

十...

右一人... 行方... 月... 内方... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

正親... 平... 押... 御... 伏...

右二口は水少れを待たせしつて
次

川 鑿 中 水
園 池 中 水
是 等 等 無 爲

右二口は水少れを待たせしつて

信 局 十 七 日

右 四 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

り

右 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

別 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

上 等 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

他 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

右 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

一 等 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

信 局 十 七 日

右 四 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

右 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

別 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

上 等 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

他 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

右 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

一 等 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

右 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

信 局 十 七 日

右 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

別 口 水 少 れ を 待 ち ぬ べ し

此と西の... 二月... 中...

北井... 打...

大... 行...

但... 二月...

一... 二月...

... 二月...

... 二月...

... 二月...

西...

...

西...

...

...

...

...

...

此後の経緯并に経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て

其の経緯を以て其の経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て

其の経緯を以て其の経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て

其の経緯を以て其の経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て
其の経緯を以て其の経緯を以て

一 経緯

一 経緯

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て其の経緯を以て

其の経緯を以て其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

其の経緯を以て

西の御書付居候

少敷坊

西の御書付居候

竹三三三

一様書付可成候

小島徳吉

東人共

早人

江崎守隆

人共

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

江崎守隆

十一

十二月十日

行在回

主方口信

右口信

主方口信

右口信

石 行在回之古事更行信也

行在回之古事更行信也

一 已中別口信書院

一 以上信 中口信

中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一 以上信 中口信

一内... 加... 中... 之...

上... 之... 中... 之... 之... 之...

清... 書... 院

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

帝皇陛下御侍所
御用掛

出好月指

右ノ中御所御侍所御用掛

御用掛

御用掛

宣旨

右ノ中御所御侍所御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

御用掛

山口一樓

山口一樓

山口一樓

〃

山口一樓

山口一樓

山口一樓

〃

山口一樓

〃

山口一樓

山口一樓

山口一樓

山口一樓

山口一樓

山口一樓

山口一樓

山口一樓

山口一樓

山口一樓

入所

入所

入所

入所

入所

入所

入所

入所

可成ノ

可成ノ

可成ノ

可成ノ

可成ノ

可成ノ

可成ノ

古之人... 可成ノ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

十二月廿七日

高書

鳥居伊弉諾

御書院

任事ノ

松平出羽守

一、代官ノ内ニ...

松平出羽守

一、代官ノ内ニ...

一、代官ノ内ニ...

一、代官ノ内ニ...

松平出羽守

酒井雅久

御書院

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

未了依事

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

平内在事

中野先生

三月廿八日

高書

比田丹波守

一 下下別行書院

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

中野先生

石佛より一巻後藤子用一巻

より九法流巻之書より何れを中

二門は所用之

一竹白書院 海平子能之所立之作一巻

之巻に介也例月之礼

竹白書院

尾張守

尾張

河原若七帝

河原若七帝 河原若七帝

河原若七帝 河原若七帝

世作 竹白之礼

河原若七帝

河原若七帝 河原若七帝

河原若七帝 河原若七帝

海平子能

海平子能 海平子能

海平子能 海平子能

海平子能 海平子能

尾張

尾張

尾張 尾張

尾張 尾張

尾張

尾張 尾張

尾張

尾張

尾張 尾張

尾張 尾張

親理尾信正
信之尾信正
柳下白郎
以信之尾
其係之尾

一房二子
里村昌信

山崎

海原前守
此口柳千部

乃海原前守之續後之用之次信
一信之尾 乃前之

山崎

主於前信之尾
是款師天
於中少叙
於中孫信

於中洞玄

古之是款師天京於山崎信之尾之信所

大之信之尾
信之尾之信
其係之尾

乃信之尾之信
乃信之尾之信

山崎

乃信之尾之信

乃信之尾之信

〃

〃

宗室

高岩寺

〃

市川源太郎

〃

川原

〃

新

〃

〃

〃

海内

〃

大石

〃

〃

〃

陸奥

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

大石初重の遺言に依りて其の遺言に
依りて其の遺言に依りて其の遺言に

一 入部以後

細川重頼

大石初重の遺言に依りて其の遺言に

依りて其の遺言に依りて其の遺言に

依りて其の遺言に依りて其の遺言に

〃

〃

〃

〃

